

道連ニュース

2021年6月号 No.175

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

20年度第4回理事会（5月13日）開催報告

北海道の蔓延防止措置発令及び感染急拡大に伴い、5月13日(木)ポールスターホテルを会場にオンラインと併用での開催となりました。(理事一実出席3名、オンライン7名、監事一実出席2名)議長に北海道学校生協の三上理事が選出され、冒頭、麻田会長のご挨拶のあと、議事に入りました。平専務理事より【議決事項】について下記の提案がなされ、承認されました。①日本生協連第71回通常総会及び北海道労働金庫総会代議員について ②日本生協連北海道・東北地連運営委員推薦の件 ③2021年度各種会費・役員派遣(案)について ④北海道医療生協・あさひかわ福祉生協会費減免申請について ⑤道連役員選任(案)について ⑥2020年度事業報告書及び決算関係書類・剰余金処分案承認の件 ⑦2021年度役員報酬案決定の件 ⑧2021年度活動計画及び2021年度予算(案)の件 ⑨定款一部改正の件 ⑩第65回北海道生協連総会の議案及び運営について ⑪事務局長に関するコープさっぽろとの出向契約締結の件 ⑫業務委託契約締結の件について

【審議事項】は、岸本事務局長より経過報告含め下記の提案があり、協議がなされました。①協同組合ネット北海道の総会議案及び共同宣言(案)について ②LPガス問題の今後の取り組みについて ③こども食堂北海道ネットワーク支援について ④ほっかいどう若者応援PJの取り組みについて 【報告事項】は、監査報告を除き平専務理事が一括報告されました。①一般活動報告 ②第3回理事会議事録 ③第2回監事会報告及び監査報告 ④生活クラブ福祉基金への協賛及び学習支援NPOココタムへの寄付について ⑤預託法・特定商取引法の早期改正などを求める道議会意見書の採択について ⑥核のゴミ問題を考える北海道会議への対応について ⑦友好団体・協賛・後援・お知らせについて ⑧北海道他からの通知 ⑨日本生協連北海道・東北地連報告 ⑩その他、元道連専務理事 大西 倫夫様(享年86歳)が4月14日(木)ご逝去されました。葬儀の際はご多用のところを会葬頂きました皆様、ご丁寧なご厚志を賜りまして誠にありがたく厚く御礼申し上げます。と報告がありました。

お知らせ！ ネット事務局会議で取組確認 Vol.6

5月12日(木)北濃ビルにおいて協同組合ネット北海道の事務局会議が開かれ、次の事が確認されましたのでご報告いたします。事務局団体：JA中央会・ホクレン・コープさっぽろ・労金・漁連・森連・ワーカーズコープ・道生協連 以上8団体。

【協議事項】

- 2021年度(令和3年度)幹事会・定期総会の開催方法等について
 - コロナ感染の新規感染者の拡大・入院病床の逼迫状況、行政の対応等を踏まえ、「新型コロナウイルス感染拡大等に伴う総会・幹事会等の開催方法(案)」に基づき、協議が行われました。
 - 開催時の状況と開催方法等の基本的な考え方(案)を基本に5月12日現在における判断と今後の対応を説明。開催時の状況別に開催方法等を整理し、札幌市の「まん延防止等重点措置」を踏まえた対応の提案がされました。
 - 幹事会 (5月24日): WEB開催
 - 総会 (6月7日): 実開催とWEB開催の併用
 - 共同記者会見 : 記者はWEB参加で実施
 - 北海道知事対応 : 祝電メッセージの発出を依頼

*上記の対応は、5月12日現在の状況を踏まえたものであり、5月16日から5月31日までの北海道への緊急事態宣言の発出を踏まえ、変更となる場合があります。
- 2021年度定期総会議案の内容について
- ロゴマークの作成と経費の負担について
 - 「協同組合ネット北海道」の組織・活動を内外に周知し、組織の認知向上を図る目的で、ロゴマークを作成することとする。
 - ロゴマークを印刷したエコファイルを作成する。
 - 対外的なPRを考慮し、総会時までパネルを作成する。
 - 経費の負担は、事務局8団体で応分負担とする。
- 2021年度事業の取り組みについて
 - 環境対策について
 - マイボトル運動への参加について <コープさっぽろ>
 - 植樹活動への参加呼びかけについて <漁連>
 - 北海道ユニセフ協会への募金について <コープさっぽろ>
 - 災害時の支援対策について <北海道ろうきん>
 - 「労働者協同組合法」法制化記念フォーラムの開催について
 - 5月13日の実行委員会において、フォーラムの開催延期が決定。(年明けに開催予定)

もっと若者を元気に！北海道を元気に！

『ほっかいどう若者応援プロジェクト』第2弾企画の取り組み紹介！

北海道生協連や、大学生協事業連合などが構成団体となって取り組んでいる『ほっかいどう若者応援プロジェクト』の第1弾として、2月に北海道大学での食料品の無料配布を実施致しました。その後、プロジェクト会議を数回重ね、道内の大学生協がある大学の他、大学から支援要望の問合せがあった大学への無料配布計画の協議を進め、4月より第2弾企画として札幌大学をかかわりに、困窮生活を強いられている多くの学生さんへの支援活動がスタートしており、既に支援企画の終了した大学の取組状況などをご紹介します。

① 札幌大学 開催日：4月23日(金) 対象：350名

4月23日、札幌大学で若者応援プロジェクト第2弾の「食の支援」企画がスタートしました。



今回は、札幌大学と札幌大学後援会のご協力もいただき、自宅外生を対象に食料品350人分を用意して、学生さんを迎え入れました。大学生協の本家専務は「新学期が始まってまもなくコロナ感染拡大が広がり学生生活や日常生活に不安な毎日が続いている。就活に支障が出ている学生もいるようです。連休を迎える前に、こうした支援で少しでも学生の皆さんをカブげたい」とエールを送っていました。

② 天使大学 開催日：4月25日(日) 対象：120名



4月25日、天使大学で「ほっかいどう若者応援プロジェクト支援事業 in 天使大学」を開催しました。同大学に生協はありませんが、2月の北大での支援を知った天使大学から

らの電話がきっかけとなり、今回の支援が実現できました。当日は、密を避けて入場数を制限するなか、たくさんの学生さんが来場。持参のバック一杯の食材を手に、「こんなにいただけるとは！」「たくさんの食材をいただきありがとうございます」と笑顔で会場を後にしました。大学職員さん、ボランティアの学生さんも「学生さんに喜んで貰えて本当にやって良かった。」と準備の疲れも吹き飛ばすと笑顔を見せていました。

③ 北海学園大学 開催日：4月27日 対象：650名

4月27日、北海学園大学豊平キャンパスで北海学園大学と北海商科大学の学生さんを対象に支援活動が行わ

れ、約600人の学生が会場の生協食堂「G'caFe」を訪れました。今回の支援活動には教職員の皆さんからも支援金が寄せられ、運営も一緒に行い、まさに大学・生協・学生、そしてプロジェクトが一体となった取り組みとなり、運営の中心となって頂いた西野専務をはじめ大学生協の皆さん、品出しや受付で奮闘して頂いた学生委員会の皆さんに心から感謝いたします。



④ 釧路公立大学 開催日：5月11～12日 対象：250名

札幌圏以外では最初となる「ほっかいどう若者応援プロジェクト釧路」の第1弾として、5月11、12日の両日「釧路公立大学」での食材支援を実施しました。大学生協の工藤専務より、「コロナで生活に苦しむ学生に少しでも食財の支援が出来たことは大変うれしい。寄付を頂いた多くの企業、団体、個人に感謝いたします。」とのコメントを頂きました。学生さんからは、「奨学金が入るまで時間がかかるので本当助かります。」「お金に余裕のない学生は食費を削りがちです。とても素敵な企画ありがとうございます」「久しぶりにお腹いっぱい食べたいです！」など多くの感謝の言葉が寄せられました。



⑤ 帯広畜産大学 開催日：5月13日 対象：230名



帯広畜産大学では、一人暮らしで生活困窮している230名の学生に対し、食の支援を実施しました。

支援を受けた学生さんは口々に「ありがとうございます！」「こんな

なにいただけるとは思っていなかった！」「袋の中に沢山の食品が入っていて嬉しいです」といった声が至るところで漏れ聞こえました。大学生協の伊藤専務は、「コロナ禍が続く中、若い学生を地域や社会で支えることは重要で、帯畜大生が元気に学生生活を過ごせるようこれからも見守っていききたい」と語っていました。